

HONDA
E★RA
NONDRUMATIC

新2輪世紀。

ホンダは、モーターサイクルにオートマチック時代を開きます。



そのメカニズム。そのパフォーマンス。そのクオリティ。2輪の印象は変わる。



4サイクルの135cc 4気筒、73馬力、新特許エンジンです。ホンダマチックとのマッチングを改めて見入系には、大型エアクリナーと加速ポンプ付きキャブレターを採用、高い吸入効率とともに、燃費効率も高めています。圧縮比を特に1.7に設定、フライトモードがある此の特性を持っています。潤滑は、ウェットヤンプです。さらに、排気は、新設計の4バルブ方式、大容量マフ

ラーにより、高い排気効率と燃費と消費効果を生み出しています。その他、フローバイガス感気装置、セルブブリーディングにすぐれた新系列直次ブリードワイアチェンにホンダが独自に開発したロングライフチェーン（これは、グリスを注入したシールドドレフリップカントチェーンで、耐久性と強度を誇ります）の採用など、細部まで心を配っています。エンジンガードは、オプションです。



自然で、ゆったりとしたライディングポジションです。大容量の吸入用のフェルスタタンクは、シート裏までたっぷり。シートは、前後を深く送り、サイドを深くカットした独特のラインです。さらに、サイドカバーは、シート幅が広く同じ、大径の厚みとは思えないほどスリムで、ノーグリップが得意です。エアラはまた、ハンドル形状も独特、腕をゆったりと伸ばした位置に

グリップがあります。（グリップは、ロングツーリングも考慮し、タンクの上ソフトグリップを採用しました。）この新たなハンドル形状ともあいまってライディングポジションは、自然な姿勢を保てます。車体の大きさも驚かされる絶妙なポジション設定です。シート下には、大容量のバッテリーと大きなトレイ、ツールボックスがあります。サイドボックスは、オプションです。



エアラは、安全走行への配慮もついています。

すでにホンダ車に採用した装備は、この車にも、もちろん装備されています。独特なインジケーターパネルも、設計思想は同じ、見やすく、機能的に配慮しました。走行のためのチェックと操作は、

そのほとんどが乗車姿勢の上で行えます。大型2速メーターの左は、速度計、右は、上段にバリエーム、オイル、パーキング（ブザー）連動のハイライト、中段は、ホンダマチックのハイライト、左からニュートラル、ローレンジ、スターレンジが、そして下段には、左右

別々に点灯するターンシグナルのハイライト、さらにその下には、二輪車には数少ないフルエルメーターがついています。速度計下には、ノブ式のチョーク。中央には、ハンドルロック連動のメインスイッチがあります。写真のエンジン回転計はオプションです。



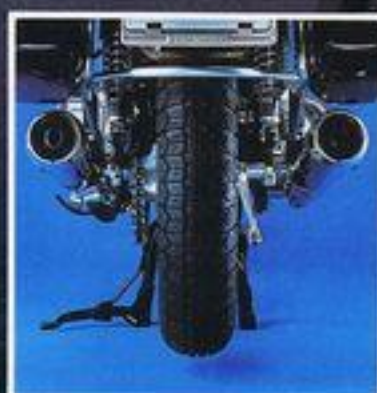
停車時の安全にも細心の配慮を施しました。パーキングブレーキがついています。定額、キャブ側のリアブレーキノブを引く、リアブレーキを踏むと後輪がロック。同時にブザーが鳴ります。



前輪は、大径のディスクブレーキです。その制動力は、定評。前後ブレーキとも摩耗チェック目盛付き。フロントフォークは、すぐれた自動油圧のフリーバルブタイプを採用。



フルエルトankキャップは、メインキーで開閉するリッドでカバー。キャップは盗難防止、さらに、キャップを完全に閉めないでリッドがロックされません。



タイヤは、前後とも高速度用タイプを採用。特にリアは、ワイドトレッドの450R17R。すぐれたロードホールディングを示します。サイドボックス用スチアーはオプションです。



サイドスタンドを立てるとキヤは、自動的にニュートラルに戻ります。サイドスタンドをミッションに接続したこの新しい機構も、停車時の安全のための配慮です。

エアラは、伝える。モーターサイクルを理解し、愛し、待っていてくれたみんなの、望みに、心こ。



ALL INFORMATION CONTAINED HEREIN IS UNCLASSIFIED EXCEPT WHERE SHOWN OTHERWISE BY THE MARKINGS

EX-21





車体色



キャンディオレンジグリーン



キャンディアップルレッド

※ 詳細の色の写真と多少異なる場合がございます。



ヘルメットをかぶろう
HELMET CULTURE WITH A SMILE



HONDA

本田技研工業株式会社
 東京都港区神宮前5-27-8
 CD755A-K-754 誌

お求めやすく便利な
 《ホンダクレジット》も
 ご利用ください。

